

参考資料

○ 京都市長賞

「十人十色」 関 としお さん（東京都板橋区）

（応募者コメント） 比べるばかりではなく、一人ずつの何か得意なことを知ることによって個性の大切さが分かる。



○ 京都市教育長賞

「十人十色」 堂北 樹里 さん（京都市右京区）

（応募者コメント） マトリョーシカを使って、「みんな個性があってもいい」ということを表現しました。



○ 優秀賞

「仲良子良」 翁長 志帆 さん（沖縄県那覇市）

（応募者コメント） 子どもがまだ小さい頃の周りの環境はその子にとって、これからの未来を大きく左右するものだと思います。子どもたちの未来のために、大人はどうあるべきかを考えて描きました。



○ 優秀賞

「善行伝染」 外間 香穂 さん（沖縄県豊見城市）

（応募者コメント）善い行いは、されている人だけでなく見ている人にも影響を及ぼすと思います。それを伝染という言葉を使い表現しました。



○ 優秀賞

「心労新婦」 嘉山 裕人 さん（北海道広尾郡広尾町）

（応募者コメント）ある番組で束縛夫に悩む妻についての内容があつて、人権に関する事だと思ひ考えました。



○ 佳作

「言語横断」 伊藤 文人 さん（神奈川県鎌倉市）

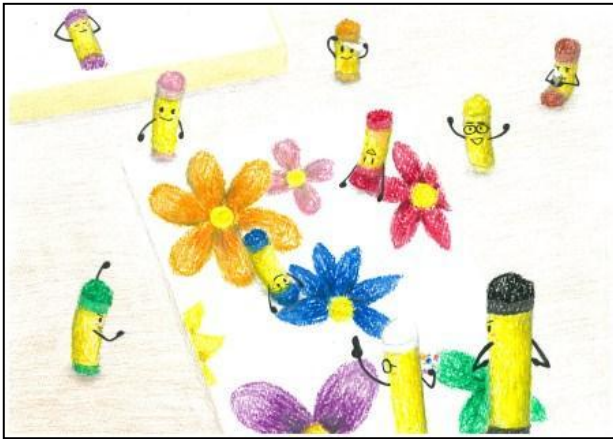
（応募者コメント）言語道断のパロディです。最近どこに行ってもスマホに夢中になっている人が目立ちます。人にぶつかってきたり、転んだり、ホームから転落して亡くなった人もいます。これはもう重大な社会現象。自分どころか他人の命すら奪いかねません。



○ 佳作

「十人十色」 中西 優多朗 さん（京都府相楽郡精華町）

（応募者コメント）それぞれの個性を發揮し、力を合わせて花を咲かす。



○ 佳作

「強行突破」 菅沼 美紀 さん（栃木県栃木市）

（応募者コメント）電車の座席に限らずですが、強行突破されると腹が立ちます…。



○ 佳作

「千客万歳」 八島 潤子 さん（京都市下京区）

（応募者コメント）どんなときでも誰でも分け隔てなく行ったり来たりできるようなバリアフリー空間が世界中にもっと増えるといいな。



○ 佳作

「孤立無援」 森 一起 さん（大阪市東淀川区）

（応募者コメント）差別をさくし、人権を守っていくのは一人一人の絶ゆまぬ努力と長い時間が必要ですね。
反省をこめて…



○ 佳作

「安車蒲輪」 山田 明日美 さん（千葉県八千代市）

（応募者コメント）タイヤがなくなつて、ハンドルがなくなつて、この車はどんな車よりも心を温かくさせる。



○ 佳作

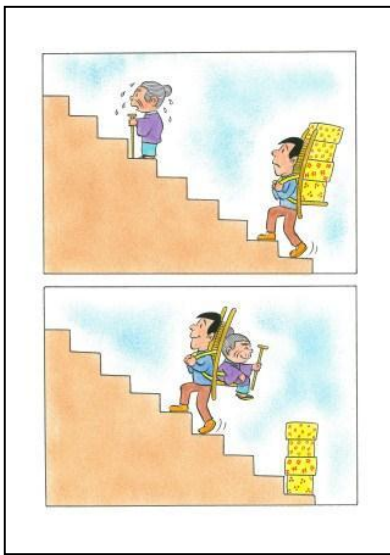
「十鳥十色」 桂川 みなみ さん（岐阜県関市）

（応募者コメント）鳥にはたくさんの種類がありますが、どんな鳥でも私は大好きです。鳥と同じように人にもそれぞれの個性がありますが、みんなそれを大事にしてほしいと思って描きました。



○ 佳作

「臨機応変」 岡崎 忠英 さん (神奈川県海老名市)
(応募者コメント) 困った人を見たら助けてあげましょう。



○ 奨励賞

「七転八起」 田中 日可瑠 さん (京都市左京区)
(応募者コメント) やっぱり、いつも転んで立ち上がるのは、自分しかいないはず。頑張って自立したいです。



○ 奨励賞

「表善裏悪」 阿山 奈緒 さん (京都市右京区)
(応募者コメント) 表面では良い顔をしているが、裏には実は悪い顔がある人を表して描きました。



○ 奨励賞

「喜優愛楽」 吉岡 愛美 さん（東京都杉並区）

（応募者コメント）優しさと愛には、喜ぶこと、楽しいことが、集まるよ。小さい子も大きい大人も人間みんなが持っている気持ちを大切にしたいな。



○ 奨励賞

「敬天愛人」 坂本 優佳 さん（大阪府寝屋川市）

（応募者コメント）四字熟語の辞典を調べたところ「敬天愛人」の意味を知り、マザーテレサの本を思い出して「そういう人はステキ！！」と思い描きました。



○ つるの賞*

「一接一輪」 越智 明華 さん（京都市左京区）

（応募者コメント）1人でも人と人が接していたらそれは1つの輪になるという意味です。



* 「つるの賞」は、平成 25 年度四字熟語人権マンガ表彰式を行った人権啓発イベント「ヒューマンステージ・イン・キョウト 2014」に出演されたつるの剛士さん（俳優・ミュージシャン）により選定された、今年度限りの特別賞です。